SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	今田 裕基	学校名	山形市立みはらしの丘小学校
実施学年	2学年	教　科	国語
単元名	がっきゅうタイム大さくせん～学級タイムの遊びを考えて、みんなに伝えよう～		

≪学びを深めたいポイント≫

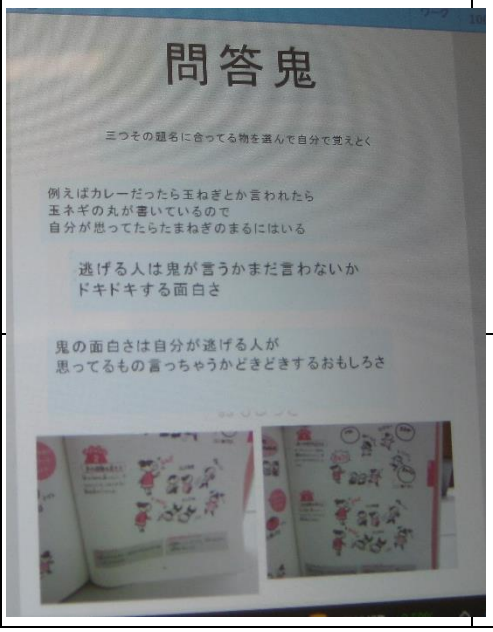
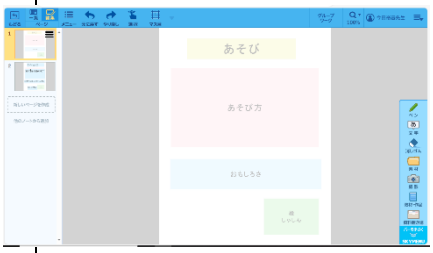
本単元は重要な語や文を考えて選び出し、伝えようとする力の育成を目指している。重要な語や文を考えて選び出すとは、教科書の説明文「おにごっこ」やいろいろな遊びについて説明されている本を読み、遊びの名前や遊び方、その遊びの面白さが書かれている箇所を見つけて、抜き出すということである。また、本単元の後半では、友達に伝えるために、いろいろな本から遊びを調べてまとめるといった活動を通して学びを深めていきたい。

≪SKYMENU 活用のポイント≫

発表ノートでは、教材の作成や、学習のまとめ（今回は、「あそびカード」の作成）に使用でき、手直しが簡単で、字のうまさにかかわらず、誰でもきれいに仕上げることができます。また、デジタルブックを簡単に作成できます（発表ノートのグループワークと解除で）。

気づきやメモは、調べ学習（今回は様々な本からの調べ学習）にも使用でき、項目ごとにメモを分けて整理することができます。これらのメモを活用して、そのまま発表資料を作成することが可能です（メモを選択し、発表ノートに転送する）。

≪実践内容≫

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	前時のふりかえり めあてのかくにん		
展 開	説明する事柄を決める 「あそびカード」を作る 教師の声掛け「文字が小さくて見えづらい時は…」 できた人から提出する。 友だちの「あそびカード」と見比べる。	気づきメモを見て、必要なメモを選ぶ。 発表ノートへ送る。 発表ノートでレイアウトする（文字の大きさや配置を変更）。 写真撮影と写真の貼り付け 足りないところは文字入力で 提出箱は、作品閲覧にチェック。友達の作品を見て、良いところに気づけるように。  	気づきメモから発表ノートへ送る手順を、繰り返し電子黒板にて流す（事前に、キャプチャーして動画を作成しておく）。 →手順が分からない子どもたちが、いつでも見ることができるように。  文字の大きさの自動調整をON する（気づきメモから送ったものは OFF になっている）。または、文字を大きくするボタンを押す。
ま と め	ふりかえり 次時の見通し		

≪実践を振り返って≫

本単元で目指している重要な語や文を選び出し、友達に伝える力を育むことができた。

まず、重要な語や文を選び出すことで言えば、気づきとメモを用いたことで、目指している力がどこまでついているのかを可視化することができた。今回は遊びの名前、遊び方、遊びの面白さという３つの項目を考えて選び出すことを子供たちの共通の課題としていたので、その内容ごとに分けて気づきとメモを送信していれば、概ね満足できる姿（B 評価）と容易に判断することができた。また、気づきやメモから発表ノートへメモを選択して送るという活動においても、自分のまとめたいことに必要なメモだけを選択するという活動が、本単元で目指している重要な語や文を考えて選び出すという活動にそのままつながっていると感じた。

次に、友達に伝えるという点で言えば、さらに改善ができたと思う。例えば、見る人のことを考えて字の大きさを変えたり、レイアウトを変更したり、絵や写真をカードに組み込んだりすることが考えられる。その全てに対応できる発表ノートなので、今後の学習に活かしていきたい。